

ぴっぴだより

16.2 2016/4/27

森のようちえんぴっぴ、10回目の春です。10人の子ども達でスタートし、この10年間で在籍したのは96人です。たくさんのお出迎えがあり、つながりが広がり、関わりが深まりました。

週2日、2歳児のみの保育だったのが、少しずつその対象を横にも縦にも広げ、今のよう形になっていきました。僕がぴっぴの保育に関わり始めた2009年春に在籍していたのは、1〜3歳児のみ。その頃は、子ども達は水筒を持参していませんでした。その代わりに、やかんや麦茶が入っていて、共有のジョブに大人が注いであげていました。これは感染症予防の観点からは問題がありましたが、飲めたいと思った時に自分で飲めようか、いいということ。水筒を持参することにしたのは2009年7月からです。「2歳児が、自分で水筒を開けて、お茶を飲めようか？」という不安もありましたが、それは杞憂に終わり、今日にいたります。

「場所」という切り口で10年を振り返ってみましょう。しばらくは軽井沢フロンティアハイムキャンパス(KFBC)の広場での保育が中心でした。隣接している森に出かけて遊ぶことも多かったのが、ある時、そこに月7で張っているのと別荘管理組合のサビリ会の事務局長に見つかり、「無断で立ち入って何してるの！」という具合に怒られてしまいました。今では、いろいろな側面から協力に下るサビリ会さんとの関係は、最悪な状況で始まりました。そこから森の所有者である関東学院さんとの交渉が始まり、なんと2011年冬からは正式な許可を得て、「施設等は建設しない」という条件で森を使わせて頂くようになり、サビリ会さんとの関係も改善していきました。ところが2012年夏にKFBCさんから広場と「ぴっぴハウス」としてお借りしていた日本家屋の使用を、事情により2014年度は、いままでという通知があり、頭を抱えることになりました。いくつかの移転先を検討し、2013年9月の新人園説明会では、移転候補先での保育を行うことを説明し、移転候補先と一緒に見て回るといふ不安な状況がありました。その後、「子ども達にも、どうしていくか、いいのか。」スタートで何度も議論を重ねた結果、可能であれば今まで通りの場所で保育を続けられようか、一番いいということになり、関東学院さんとの交渉を行い、購入を前提とした「森」の賃貸借契約を2014年3月に結び、堂々と「ぴっぴの森」と呼べるようになり、2014年4月からは、ぴっぴの森を中心とした保育の形になりました。土地を所有するため2014年9月に一般社団法人化。9月30日に安全新願保を行い、「ぴっぴハウス」と「キャンティル棟」の工事スタート。たくさんの方のご協力、ご寄付を頂き、2014年12月に土地の売買契約締結。2015年1月にぴっぴハウス、キャンティル棟が完成。これで一安心と思っていたが、森での活動時間が圧倒的に乏しく、土が踏み固められ、草も生えてこなくなり、傷んだ場所がどんどん広がっていることに気がつきます。2015年4月からは保護エリアをつくり、森を保護・再生すること意識し始めました。

「子どもたちにして、どうなりたい？」という問いを常に抱きながら、ぴっぴの在り方に試行錯誤を重ねていまいと思っています。時には失敗することもあるかもしれませんが、それも含めてぴっぴの歴史として積み重ねたいと思っています。先日、野外・災害救急員の国際資格を取得するために3泊4日の研修と認定テストを受けました。その内容の1つに「倉」という項目がありました。「創造、創り、創り出す」という言葉でなじみのある「倉」という漢字ですが、倉は、皮や粘膜の表面から切り開かれたり、はかれはいて断裂がある状態です。いわゆるキズです。ぴっぴの歩みも思い出しながら、創造とキズが近いところにあるものかということに思いを巡らせました。そのものが持っている生きていくエネルギーを大切にいつ、キズを食った時には適切に処置する。いろいろなことを経ながら、10回目の春を迎えようという気持ちで、感謝の気持ちでいっぱいです。

情之介

おおきいくみ だより"φ"

ぴっぴの森に春が来ました。ひとつ大きくなったひとたちと新しくぴっぴの仲間になった子どもと大人と…。ひとりひとりそれぞれわくわくの気持ちとドキドキの気持ちで「ぴっぴが」はじまりました。

入園のついでが終わり、スタートはおおきいくみの日。今年もおおきいくみの「初日」がやってきました。新しくおおきいくみの仲間になった新まつぼっくりさんにおおきいくみのことを丁寧に伝えていこうと考え、おおきいくみの草月のマラソンのことを朝の集まりでお話ししようと考えていました。ところが…。朝の集まりの鈴を鳴らすと新おおきいくみ一番に走り出し「体操〜! マラソン〜!」と馬車場で準備箱を文句めきました。まつぼっくりさんも何が始まるのかな…と目をキラキラさせています。楽しんでたまるな!! といった感じで体操が動いている人もいます。大人は汗をかいてしまいました。「おおきいくみの日はマラソンをするよ。」とお話して準備運動。すると見よう見まねでまつぼっくりさんも体操をしてスタート位置に着きました。「まつぼっくりさん 並んで〜!」と言ったところ、大権くん、風希ちゃん、並ぼうとし、「あっと違った〜!」と苦笑い。本当のまつぼっくりさんはずらっていました。「よーい、どんってするからね!」と声をかけると「やった〜!」とやる気がみなぎっています。こちらも楽しくなってきました。

毎年、「おおきいくみの初日ってちがうなあ〜」と考えていました。今年のおおきいくみまつぼっくりになった一昨年のおおきいくみの初日は、同じまつぼっくりさんで奇り添い横一列になって「何が始まるの?」とキョトンとした顔で体操をみていました。そして今年のくりえんがまつぼっくりになった去年は、ひとりひとりが「?」「何が始まるんだ?」とそれぞれ好きなことをしていたような…。面白い! 学年ごとにカラーがあり、毎年違うのが面白い。そう感じています。

おおきいくみでは年間を通してカリキュラムを立てています。でもぴっぴのおおきいくみのいいところは「やらなければならぬ」カリキュラムではないことです。またひとつひとつのことを楽しむために前もって話すことや導入を丁寧にすることがあります。そしてこの時、子どもたちから出た意見や興味があれば取り入れていくことが出来ます。柔軟に考え、臨機応変に出来ることは子どもも大人も楽しい…。

おおきいくみになって話し合いの場が出来、意見を出したり自分たちの考えを遊びに取り入れられることで遊びも楽しさが増えます。今年はずっと「くりえんの売店で針山つくってみない?」とおおきいくみに提案したところ「やる〜!」と言ってくれ、自分の好きな布で上手に作っていました。そして早速どうきんづくりの時に使えたのです。針を使うことに臆することなく、糸通すことも得意そうなおおきいくみの姿を見ていたら何か他の物も作れるかも…。という気持ちが芽生えてきました。

今年もスタートしたおおきいくみ。どんなことを楽しめるかな…。どんなことに興味があふれるかな…。と一年、柔軟に考えながら楽しんでいきたいと思っています。

：美穂

お知らせ

- どんぐりさんの降園時間が変わります。
5/6 (金) 13時降園。 5/10 (火) ~ 14時降園
- 5/2 (月) は計画休園日 (5%の振替) です。
- 今年度 第1回目の保護者会を開きます。万障お繰り合わせでご出席をお願いいたします。

日時 5月18日 (水) 9時20分 ~ お昼頃
場所 バイブル メインホール (その時 メインホールで 昼食を召し上がることは可能)

- 今月から ひびの森開放日 と くすみの日が 始まります。ご希望の方 周りにいらっしゃる方から ひび HP をご覧下さい。お知らせ下さい。
- 今月は身長計測の月です。計測が済んだら、用紙を配布いたしますので 体重を書き込んでいただき、一週間以内迄に、用紙を ひびに お戻下さい。
- みんなが大好きな ひび 駐車場前の 崖は、痛みが 酷くなり、危険な状況も想定されています。しばらく 休ませてあげてお返しします。ひとと どんぐり園に 使えるか、私に 決まりました。子ども達に 開放したいと 考えています。

- 今月の森づくり 5月29日 (日) 9時 ~ 作業終了し 12時 解散
持ち物 軍手・のこぎり・ある方は インパクトドライバー 水筒 お皿 お箸 紙
参加できる方 は ひびメールにて お知らせ下さい。
今回は 特別に ランチが用意される予定です。大人300円、②以上150円
(お申し込みを ランチ代は 帰りの 方は お知らせ 下さい)

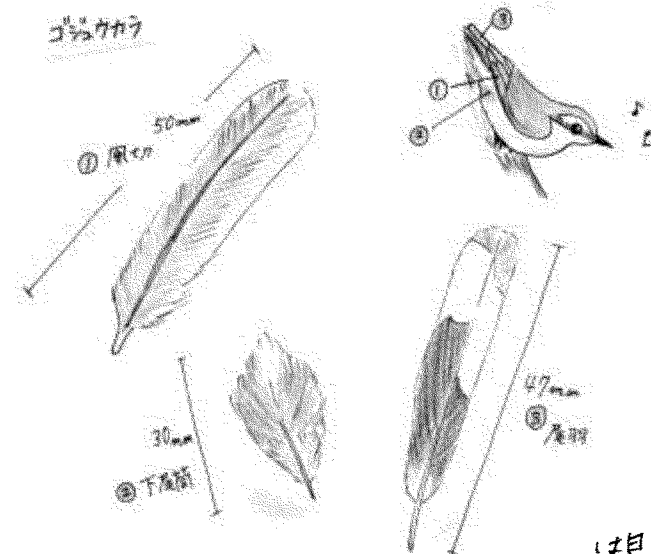
- おおきくみの方への お知らせ。
・ アート日 9日 (月) 23日 (月) アートセットを お返し下さい...
 - ・ えりんごづくり 11日 (水) 26日 (木)
 - ・ 田んぼ 12日 (木) か 19日 (木) (お天気ご判断)
 - ・ ライオンフェスティバル 30日 (月)
 - ・ お料理 12日 (木) か 19日 (木) お弁当は 要りません。メニューは 子供達と相談です。
- ランチ代 300円は、納入袋にて お納め いただきます。

田んぼにふり

4月18日、おおきくみで新しい田んぼへ出かけました。浅間山を正面にのぞめる見晴らしのよい追分の田んぼ。この田んぼを貸してくださるのは、A君と6年生の 荒井猛さん。生まれてからずっと追分で、馬や羊などの家畜とともに暮らし、田んぼを作っているという生き字引さのようなおじいちゃまで。この日は早稲の集まりで、猛さんに「ごあいさつ」してから田んぼの仕事をしました。まず田んぼの一年の初めの大切な仕事、稲の種もみ蒔きです。4月はじめに水につけておいた種は、前日にお風呂の 湯で温めて蒸らす「芽出し」をしておいたもので、小さな白い根をちょんと出して、これを育苗トレイの上にペラペラ蒔いて、土と糞からくん炭(米の外殻の もみがらを焼いた炭にしたもの)を上にかぶせて田んぼの苗床に水にひたすように置きます。くん炭は黒いのでお陽さまの光を集め、温める役割をしてくれます。この苗床にビニールのトンネルをかぶせて稲の苗を育てます。お天気にもよりますが、例年だと5月末~6月はじめにかけて、苗が15センチほどに育ったらいよいよ田んぼへです。隣の田んぼにはカブと人参の種をまき、A君が、間近を走りしよの金矢道に、歓声をあげて手をふりながら、田んぼの周りのお散歩もしました。少しづつ新しい場所へ慣れてきたから、また稲の芽が出るころ 見に行きましょう。 : 美和子

ひびの森のスケッチブック ~ 4月 ゴジウカラ ~

小鳥たちの声とともに、子どもたちの声が森の中に響き渡る季節になりました。今年度の集金袋のテーマは鳥の羽です。毎月ひびの森で出会える鳥とその羽をご紹介していきます。



今月は『ゴジウカラ』春風にのって、フィ... フィ... とゆっくりと音が聞こえてきます。やがてトウイ、トウイ... トウイ トウイ トウイ... とだんだん早く細かくなっています。

その声とふりに探してみると、あ、いました！ 木の枝ではなく、草や花の下にいて、逆さまにとまっています。頭から背中にかけてはブルーグレー(①の部分)で覆われ、アゴのあたりは白と黒、③そして尾羽の下あたりは赤褐色②の色がみえました。しばらくゴジウカラと草や花をつついて、また春風とともに、森の奥へと飛んでいきました。 : 菜々丸